

問 フローレスタの村道の安全対策は

答 ひたちなか市と連携して進める



新政とうかい
みかみ おさむ
三上 修 議員

問 フローレスタ須和間団地を通る幹線村道の通称はなみずき通りのうち、団地中央の信号機付きの交差点から、県道31号線までの区間は、街灯が設置されていない。通行人の安全確保が急務となっていないか。照明の整備計画はいかに。

答 この区間は、宅地造成が行われていない区域も含まれているため、街路灯や防犯灯の設置に向けて具体的な設置場所や時期を検討中。本路線は広域防災上重要な路線であることから、まずは、交差点への街路灯の設置や



フローレスタ須和間団地中央の交差点から南側のはなみずき通り

防犯灯の設置の検討を進める。
問 この道路は途中からひたちなか市となるが、安全確保について、ひたちなか市とのように連携しているか。
答 この村道をひたちなか市方面へ延伸する際には、南台住宅団地へ向かう村道との接続に関して、接続方法やカーブミラーの設置など、ひたちなか市と連携を進めてきた。安全確保のための必要対策は、引き続き連携して進める。

問 障がいのある方等への助成復活を

答 地域共生社会の実現を目指したい



おおな みえこ
大名 美恵子 議員

問 2019年度末までの障がい者・難病患者等への助成事業は、本村らしい心ある事業であった。廃止後の新たな支援は何か。

答 令和2年4月から村独自に、指定難病患者及び関節リウマチ患者見舞金支給。令和4年4月から、合理的配慮推進事業補助制度を整備。また、障害福祉制度による介護給付や訓練等給付、地域生活支援事業の障がい者理解促進研修・啓発事業補助制度の整備、自立支援

医療による支援等を進めてきた。障がい者総合支援協議会では「障がい者が安心して自分らしく暮らせるまち」を目指す将来像の実現に向けた話し合いを重ねてきた。

問 話し合いに補助事業復活の検討も含めるべき。

答 現時点では個別給付の復活という形ではなく、令和6年度実施予定の相談事業所の研修等を助成し、相談体制のレベルアップを図るなど、障がい者のニーズを把握し、寄り添い、必要な支援ができる体制を充実させていきたい。



障がい者総合支援協議会で充分な話し合いを